

2020  
7.25(土)/26(日)

東京2020オリンピック大会

男子 女子

ロードレースが  
多摩市へ!

2019  
7.21(日) 男子

東京2020テストイベント  
ロードレース大会  
開催決定!

# 多摩市に 自転車ロードレースが やってくる!

多摩市に東京2020オリンピック自転車ロードレースがやってきます!

五輪種目の中では数少ない、無料で観戦ができる競技です。しかも、立ち入りが禁止されている区間以外なら、どこからでも観ることができ、選手との距離が近いのが特徴。世界のトップアスリートの姿を間近で感じることができます。

無料観戦できる数少ない五輪競技

個人のゴールタイムで着順をつけますが、自国のエースを決めてほかの選手たちがサポートするという特徴があります。先頭で風よけになったりしてエースを献身的にサポートする“アシスト”と呼ばれる選手たちが存在します。

個人競技でありながら、チーム戦でもある

POINT 1



POINT 2



POINT 3



POINT 4



本場ヨーロッパの熱狂的なファンが集まるツール・ド・フランスをはじめとするサイクルロードレースは、ヨーロッパでとても人気が高く、沿道は世界各国から集まるファンで埋め尽くされます。ロードレースが通過する街にとっては一大イベントなのです。

走りながら飲んだり、食べたりする  
200km以上立ち止まることなく走り続ける選手たちは、1日で一般人の3倍近いエネルギーを消費します。そのため、走りながらチームスタッフから食事(補給食)を受け取り、自転車を漕ぎながら食べたり、水を飲んだりします。

RIDE ON !!

CYCLE ROAD RACE

## 【 はじめての自転車ロードレースガイド 】

### 歴史ある競技!

1896年のアテネ大会から行われている歴史ある競技です。全選手が一斉にスタートして、ゴールタイムで着順を付けます。

### 山岳を越えるタフなコース!

男子は約244km、女子は約147kmの距離で開催されます。男子のコースの獲得標高は4865mにもなる難コースです。

### 世界のプロの一流選手が走ります!

参加する選手たちは、自転車のプロ選手です。普段、世界中のプロチームに所属している選手が、母国代表として戦います。

### 1カ国で最大5人。日本人も出場!

国際自転車競技連盟(UCI)が決めた参加条件を満たした選手たちが参加。1カ国あたりの最大参加枠は5人、日本選手も出場。



# 私たちの街を世界のトップアスリートが駆け抜ける!



都内最長!

全走行距離中  
11.8kmも  
多摩市を走る!



## CORSE DATA

男子/距離:約244km 獲得標高:約4865m  
女子/距離:約147km 獲得標高:約2692m  
スタート地点:武蔵の森公園(東京都府中市、調布市、三鷹市)  
ゴール地点:富士スピードウェイ(静岡県駿東郡小山町) 南豊ヶ丘フィールド前  
※距離はパレード区間10kmを含む



一緒に盛り上がりよう!

## 今年7月のテストイベントに向けて 多摩市内でイベント開催

今年7月21日(日)のテストイベント(男子ロードレース)に向けて、多摩市内のコミュニティセンター等でオリンピックの自転車ロードレースを身近に感じてもらうイベントを6~7月の期間に実施予定。ロードレースのおもしろさを知って、みんなで応援しよう!

### 開催場所(予定)

- コミュニティセンター
  - ひじり館
  - 貝取こぶし館
  - からきだ菖蒲館
  - 大栗川・かるがも館
- パルテノン多摩 市民ギャラリー

開催日時・場所等の情報は  
QRコードをチェック!



最新情報は多摩市ホームページへ  
[city.tama.lg.jp/category/16-1-0-0-0.html](http://city.tama.lg.jp/category/16-1-0-0-0.html)



並木道の上之根大通りを選択。手たちは時速50kmを超えるスピードで駆け抜けて、駅から至近の多摩センターへと向かう



高層の商業施設が集まる多摩市の中心「多摩センター」を通過して、多摩ニュータウン通りへ。トンネルを抜けて八王子市へ



聖ヶ丘地区は「ひじり館」を通過後、「桜ヶ丘公園」を右手に見ながら坂道を下る。閑静な住宅街を抜けて南多摩尾根幹線道路へ



多摩東公園の交差点から南豊ヶ丘フィールド前の交差点までは、見通しがよく起伏のある南多摩尾根幹線道路を走る

## PRESENTER



近所の道路がコースになり、無料観戦できます。  
ロードレースの迫力を目の前で感じてほしいです

畑中勇介選手 (Team UKYO)

元F1ドライバーの片山右京氏が設立したロードレースチーム『Team UKYO』のキャプテン。2017年のロード全日本選手権チャンピオン。東京都在住

自転車ロードレースは、ヨーロッパにおいては花形競技で、日本人が思っている以上に注目されています。私たちの住んでいる街がオリンピックの舞台になるということは、本当に特別なことです。特にロードレースは自宅の目の前の道路がコースになります。大団団が道路を埋め尽くして時速50km近い速度で駆け抜けていく迫力を感じてください。選手は走っていても沿道からの応援は意外に聞こえています。ぜひ、日の丸を振って応援しましょう。名前でも応援してもらえると嬉しいですね。多摩市内はコース序盤ですが、実はレースの主導権を握りたい各国の思惑が交錯して、レースの展開が活発に変化することが予想されます。